

くろねこのどん

岡野かおる子・作 理論社

「よういどん」

恵美ちゃんが、声をかけると

ぱっとあらわれて、にゃーとこたえるねこ

いつのまにか

「どん」という名前になりました。

どんは、えみちゃんと大のなかよし

雨の日も風の日も雪の日もあそびにやってくる。

そして、晴れの日も、おめでたい。

かみなり雲がでたぞ

最上一平・さく 遠藤てるよ・え 新日本出版

いさむの家は、外のビニールハウスで「かいこ」を飼（か）っている。

暑かったり、雨がふったり、風がふいたりすると、お世話が大変です。

ねずみ色の不気味な雲、しめった風、

そして、ポツ、ポツと雨が・・・

とつぜん、ものすごい いなずまと、バリバリバリ、ドドーンと

かみなりがひびいた。ひょうもふってきた。

お父さんとお母さんは、留守です。

さあ、どうしよう。

あした天気になあれ

塚本 治宏・写真 文

「きょうは、ふねをだしてもだいじょうぶかな」と

りょうしは、雲を見わけて天気のごあいをかんがえました。

「明日は、たねまきができるかな。」と

のうかの人が、山と雲や風の組み合わせで天気をうらないました。

雨のまえぶれを見わかるものは、たくさんあります。

その天気のことわざは、今でもやくに立っています。

